

新花巻図書館の建設候補地に関する 市民会議結果について

令和7年3月6日（木）

生涯学習部新花巻図書館計画室

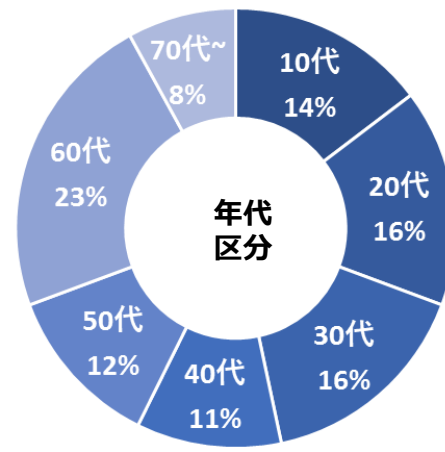
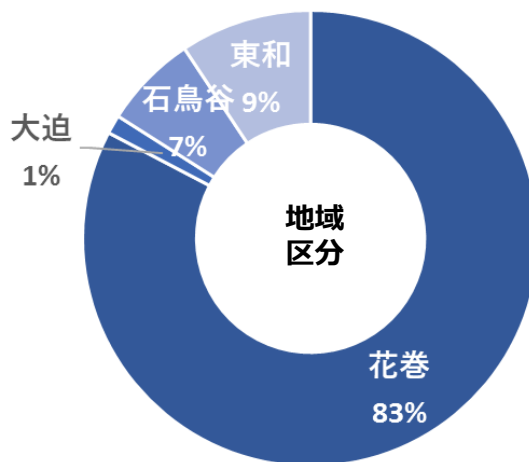
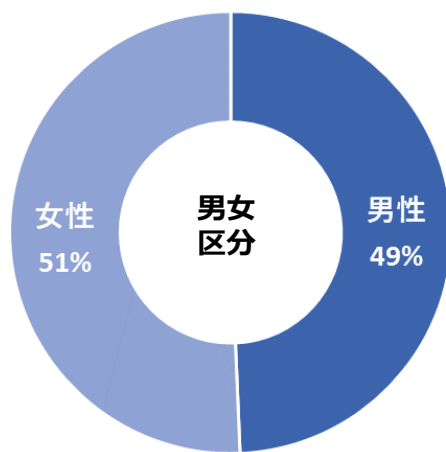
1.会議の概要

(1)会議の目的

市民会議は、新花巻図書館の建設候補地に関して、比較調査の結果等を見ながら、市民の皆さんが考え感じていることを対話を通じて共有し、それらの意見を可視化・整理することで、市が新花巻図書館の建設候補地を選定するための判断材料とすることを目的として実施

(2)会議の参加者

- 令和6年3月末現在の住民基本台帳より15歳以上の3,500人を無作為で抽出し案内を送付
- 結果として、10代から80代の75名の方から参加申込
10代（11名）20代（12名）30代（12名）40代（8名）50代（9名）60代（17名）70代以上（6名）



- 第1回 65名、第2回 64名、第3回 57名、第4回 53名
- 4回すべてに参加された方が42名、3回参加された方が19名、2回参加された方が6名、1回のみ参加された方が2名、参加希望をされたが都合により参加できなかった方が6名

1.会議の概要

(3)会議の内容

- 慶應義塾大学大学院特任教授の山口寛氏をメインファシリテーター（話の促進役）に迎え、世代別に参加者を11グループに分け、対話による意見交換を実施
- 各グループのテーブルファシリテーター（グループ内の進行役）は、山口教授の研修を受けた生涯学習部以外の市職員が担当
- それぞれの会議の冒頭で、山口教授から、対話を円滑に進めるための「対話の心得」を説明

「対話の心得」

「『私たち』と思う」こと、「話に耳を澄ませて聴く」こと、「否定も断定もしない」こと、「答えは一つと思わない」こと、「一人1回2分以内」、「アイディアをつなげる」こと、「心の変容を許す」こと

第1回

令和6年11月17日（日）
13時～17時

- 市民会議の趣旨説明
- 参加者が自分にとっての図書館についてグループで対話
- 建設候補地の比較調査結果について説明
- 令和2年から令和6年までいただいた要望や意見交換・ワークショップ・署名などを共有
- 候補地ごとにメリットやデメリットについて、グループで対話

第2回

令和6年12月21日（土）
13時～17時

- 会議開始前に、希望者（9名）により、建設候補地周辺を徒歩で確認
- 補足資料の説明
- 署名・要望等の資料の説明
- 前回の話し合いで出された候補地ごとのメリットやデメリットとそれらの分類をAIを使って整理したものについて、不足がないか確認

第3回

令和7年1月26日（日）
13時～17時

- 2回目の会議の際、求められた補足資料の説明
- 前回までに挙げられたデメリットに対する解決策を検討
- これまでの対話を経て、現時点で自分がどう思うか話し合い

第4回

令和7年2月15日（土）
13時～17時

- これまでのメリット・デメリット、デメリットの解決策を整理したものを確認（別途：意見整理表）
- これまでの対話に基づき、自分がどう思うかなどをグループを横断して話し合い
- 参加者個人の考えをヒアリングシートに記入

2.ヒアリングシート

(1)シートの書き方

- 第4回会議において、参加者個々の考えをヒアリングシートで確認
- 市民会議で話し合ったそれぞれの候補地のメリット・デメリット及びデメリットの解決策を「都市計画的視点」「建築計画的視点」2つの視点を踏まえ、10の分類（「活性化」「文化・歴史」「他施設との連携」「周辺環境」「アクセス」「安全」「防災」「土地」「駐車場」「費用」）ごとに考察
- 10の分類は、話し合いの中で出されたメリット・デメリットとそれらの分類をAIを使い、項目立てし、その中に落とし込んだもの

【確認1】

10の「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所の方が良いと思いますか。理由もお書きください

▶ 自分の考えに近いものを選択（「明らかに病院が良いと思う。」「どちらかといえば病院が良いと思う。」「どちらでもよい。」「どちらかといえば駅前が良いと思う。」「明らかに駅前が良いと思う。」）その理由も記載

【確認2】

10の「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください

▶ 分類10項目の中で特に重要と思うものの5項目を選び、優先順位と選択理由を記載

【確認3】

どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはありますか

▶ 自由記述

【確認4】

今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか

▶ 自由記述

【確認5】

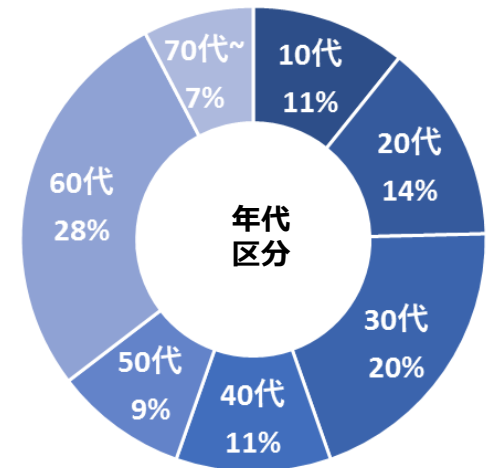
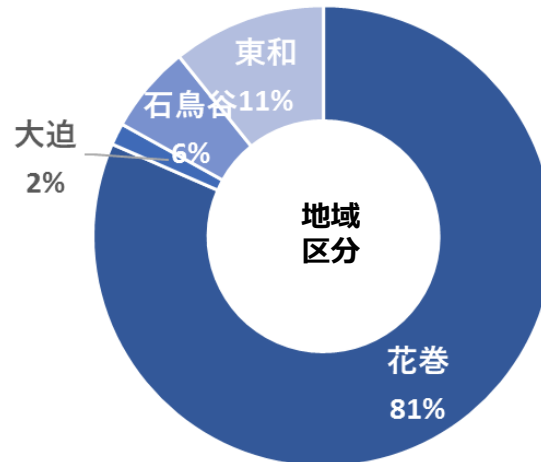
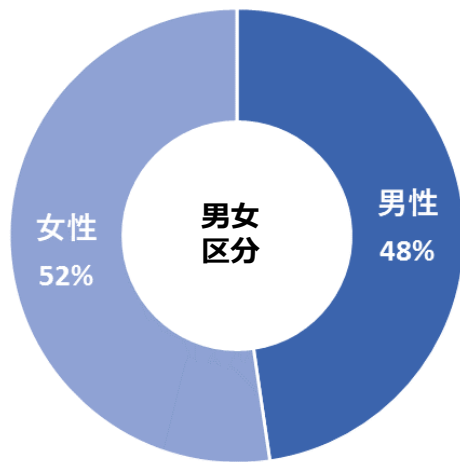
その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください

▶ 自由記述

2.ヒアリングシート

(2)シートの集計

- 2月15日の第4回市民会議参加者 51名
- 2月15日の第4回市民会議に参加できなかった方で市民会議に2回以上に参加した方に郵送でのヒアリングシート提出を依頼 16名（第4回会議で途中退席された方、2名を含む）
- 返信のあった方は14名



2.ヒアリングシート

(3)集計結果

【確認1】10の「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所の方が良いと思いますか。理由もお書きください。

視点・分類		1.明らかに病院側が良いと思う	2.どちらかといえば病院側が良いと思う	3.どちらでもよい	4.どちらかといえば駅前が良いと思う	5.明らかに駅前が良いと思う
都市計画的視点	①活性化	4人	6人	12人	16人	27人
	②文化・歴史	11人	16人	30人	5人	3人
	③他施設との連携	7人	14人	26人	13人	5人
	④周辺環境	8人	11人	15人	21人	10人
	⑤アクセス	3人	1人	9人	10人	42人
建築計画的視点	⑥安全	3人	3人	15人	25人	19人
	⑦防災	2人	5人	28人	19人	11人
	⑧土地	15人	16人	10人	11人	13人
	⑨駐車場	19人	24人	14人	4人	4人
	⑩費用	14人	7人	27人	12人	4人

※⑩費用について無回答の人が1人

2.ヒアリングシート

(3)集計結果

【確認2】10の「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください。

視点・分類	1位	2位	3位	4位	5位
①活性化	18	6	10	9	8
②文化・歴史	2	5	3	4	3
③他施設との連携			3	10	6
④周辺環境	6	5	9	8	12
⑤アクセス	19	27	4	3	3
⑥安全	7	11	10	9	5
⑦防災			4	4	5
⑧土地	2	3	5	5	4
⑨駐車場	3	4	12	6	9
⑩費用	7	2	3	4	7

※ 1位のみ回答した人が1人。1位から3位を回答した人が1人、無回答の人が1人

3.ヒアリングシートの分析

(1)確認 2 の分析

選択理由をAIにより要約（参加者がその分類を重要と考えた理由）

①活性化

- 行きやすい中心地、図書館の調和で地域が盛り上がる
- 地域全体が魅力的な区域になることを期待
- 市民の便利さを増し、良かったと思うきっかけに

②文化歴史

- 宮沢賢治の生誕地であることを活かすこと
- 文化歴史の継承とアピール
- 花巻市の独自の価値を全国にアピール

③他施設との連携

- 図書館単独ではなく、他施設との連携による強化
- 休日に様々なことができる利便さ
- 他施設との連携で費用効率を考慮

④周辺環境

- 知識を得るための静かで集中しやすい環境
- 全世代が利用しやすい広い敷地
- 融雪設備などの利便性

⑤アクセス

- 利便性のある位置、アクセスしやすい場所
- 交通手段の充実、すべての交通手段で行きやすい
- 多世代の利用、若者から高齢者までが利用しやすい環境

⑥安全

- 災害時を含めて、安全な場所に建設することの重要性
- 防犯対策、誰でも安心して利用できる場所
- 利用者の安心感、子どもだけで利用する際の不安

⑦防災

- 災害時の安全性の確保、避難所として利用の可能性
- 防火対策、火災対策の重要性
- 災害時に迅速な対応が可能か

⑧土地

- 安定した地盤、安定した土地
- 敷地の広さ
- 安全な土地、長期的に不安のない場所

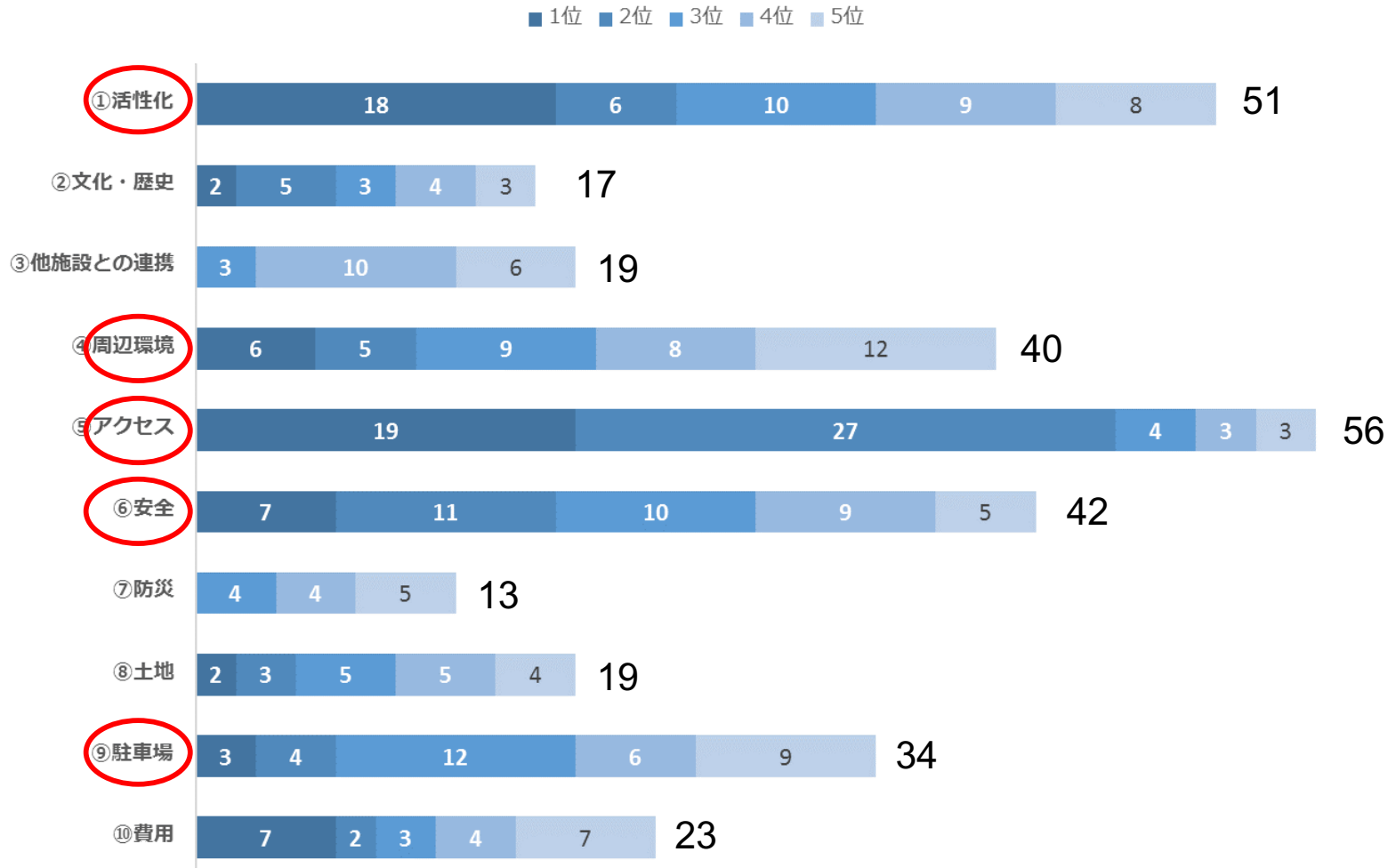
⑨駐車場

- 車を利用する市民のために駐車場の確保
- 駐車場の広さと利用料
- イベントにも利用可能な駐車場

⑩費用

- 市民負担を最小限にするための費用計画
- 周辺のハード整備費用も含めて考慮

3.ヒアリングシートの分析



確認2で、それぞれの重要と思う「視点・分類」について、1位から5位までの人数を積み上げ確認したところ、重要視された「視点・分類」の上位5つは、⑤アクセス56人、①活性化51人、⑥安全42人、④周辺環境40人、⑨駐車場34人となっており、以下、⑩費用23人、③他施設との連携19人、⑧土地19人、②文化・歴史17人、⑦防災13人の順となっている。

3.ヒアリングシートの分析

(2)確認 2 を踏まえた確認 1 の分析

視点・分類		1.明らかに病院側が良いと思う	2.どちらかといえば病院側が良いと思う	3.どちらでもよい	4.どちらかといえば駅前が良いと思う	5.明らかに駅前が良いと思う
都市計画的視点	①活性化	4人	6人	12人	16人	27人
	②文化・歴史	11人	16人	30人	5人	3人
	③他施設との連携	7人	14人	26人	13人	5人
	④周辺環境	8人	11人	15人	21人	10人
	⑤アクセス	3人	1人	9人	10人	42人
	⑥安全	3人	3人	15人	25人	19人
	⑦防災	2人	5人	28人	19人	11人
	⑧土地	15人	16人	10人	11人	13人
	⑨駐車場	19人	24人	14人	4人	4人
	⑩費用	14人	7人	27人	12人	4人

※⑩費用について無回答の人が1人

3.ヒアリングシートの分析

確認2で重要視された上位5つの「視点・分類」を踏まえると、⑤アクセスは「明らかに駅前」42人、①活性化は「明らかに駅前」27人、⑥安全は「どちらかといえば駅前」25人、④周辺環境は「どちらかといえば駅前」21人、⑨駐車場は「どちらかといえば病院」24人となっている。

それ以下は、⑩費用は「どちらでもよい」27人、③他施設との連携は「どちらでもよい」26人、⑧土地は「どちらかといえば病院」16人、②文化・歴史は「どちらでもよい」30人、⑦防災は「どちらでもよい」28人となっている。

それぞれの分類の選択理由をAIにより要約

⑤アクセス：「明らかに駅前」

- 駅前バスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい
- 病院跡地は専用のバス停がないとアクセスが困難
- 高齢者や学生にも利用しやすい場所が駅前である

①活性化：「明らかに駅前」

- 駅前が既存の商業地域であり、活性化の基盤がある
- 新しい図書館ができることで駅前が活性化し、花巻の印象が良くなる
- 観光客や花巻市民が利用しやすく、町の発展につながる
- 図書館が駅前にあると観光客にとって利便性が高い

⑥安全：「どちらかといえば駅前」

- 駅前が交番が近く、明るく夜間も安心
- 人通りが多い駅前の方が安全である

④周辺環境：「どちらかといえば駅前」

- 駅前はJRやバスの待ち時間を有効活用できるうえ、整備が整っており、近くに交番があり安心感もある
- 人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である
- 設計次第で電車の振動や騒音はカバーできる

⑨駐車場：「どちらかといえば病院」

- 病院跡地は広く駐車場の確保が容易
- 駅前は駐車スペースが狭いため混雑する可能性がある

⑩費用：「どちらでもよい」

- どちらの場所も費用には大差がない
- 建設費よりも運用維持の経費が重要
- 費用に見合う施設を作ってほしい

③他施設との連携：「どちらでもよい」

- 病院跡地はまなび学園、駅前はなはんプラザとの連携が可能
- 連携の可能性はどちらもあるが、無理に連携する必要はない
- 双方とも、他施設との連携が考えられる

⑧土地：「どちらかといえば病院」

- 病院跡地は広い土地で柔軟に利用できる
- 病院跡地は市有地であり、既に取得済み
- 駅前は広さで制約があるが、土地が整備されている

②文化・歴史：「どちらでもよい」

- どちらの場所も賢治や高村光太郎などのゆかりがあり、強みを持っている
- 図書館の場所自体に文化や歴史はそれほど重要ではない
- 図書館内で文化・歴史に触れる展示があれば良い
- 個人の興味によるが、どちらにも文化・歴史がある

⑦防災：「どちらでもよい」

- 災害時にはどちらの場所も一時的な滞在場所として利用可能
- どちらの場所も防災対応が可能であり、それほど差がない

3.ヒアリングシートの分析

(3)確認3の「どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはなんですか。」に対する意見

自由記載内容をAIにより分類・要約

①全世代に利用しやすい図書館

- 子供から高齢者、障害者まで老若男女全ての人が利用しやすく、楽しめる図書館にしてほしい
- 多様な年齢層から愛される図書館を目指してほしい

②利便性とアクセスの向上

- アクセスのよさと交通の便を重視すべき
- 利用しやすい立地を選び、利用者が快適に図書館を使える環境を整えることが重要

③快適な施設設備

- 外装・内装・雰囲気を楽しくし、行きたくなる図書館を作る
- 機能性、デザイン、自然との調和などを考慮し、実力のある建築家に依頼してほしい

④図書館の中身と運営

- 本の種類や資料の充実、イベントの開催など図書館機能の拡充を求む
- 利用者目線での施設作りと運営が大切

⑤安全性の確保

- 図書館周辺の安全性を確保し、防災・安心な環境を作る
- 病院跡地や駅前どちらの立地でも必要な安全対策を講じることが重要

⑥市民の声と説明の場

- 市民へ詳しく説明してほしい
- 市民の多くの意見を尊重し、納得のいく図書館作りをすることが大切

⑦将来を見据えた図書館設計

- 短期的視点ではなく、30年から50年先まで見据えた設計を望む
- 将来の利用者を想像し、幅広い世代が利用できる図書館に

⑨バリアフリー対応

- バリアフリーを徹底し、全ての人が使いやすい施設にする
- 特に高齢者や障害者が安心して利用できるように配慮することが大切

⑩コストと効率

- 建設と維持管理のコストを最小限に抑えながらも、質の高い図書館を求める
- 費用対効果を考え、市民に還元される図書館作りをする

⑪その他

- 維持運営の努力と市民文化創造の側面を重視し、長年に渡って愛される図書館にしてほしい
- 質の高いスタッフを配置し、利用者が快適に使えるようにする

3.ヒアリングシートの分析

(4)確認4の「今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか。」に対する回答

自由記載内容をAIにより分類・要約

①市民会議の意義と効果

- 様々な意見を聞くことで視野が広がり、良い体験だった
- 市民会議は貴重な場であり、市民の声が反映されるのは素晴らしい
- 市民の意見を集約し、市の決定の判断材料にすることに好感が持てた

②進行方法の評価

- ファシリテーターの進行が素晴らしく、話しやすい雰囲気があった
- 山口先生の進行方法が非常に良かった
- 進行係が適切な役割を果たし、進行がスムーズになった

③参加者のバラエティ

- 様々な年代や背景の参加者がいることで、多様な視点を得られた
- 世代ごとにグループ分けされたことで話しやすい雰囲気があり、意見が出しやすかった
- 普段関わることのない世代の意見を聞ける貴重な機会だった

④意見の自由

- 自由に発言できる場があり、否定せずに意見を言いやすかった
- 発言時間の制限が適切で、みんなの意見を広く聞くことができた
- メリット・デメリットを出し合うやり方が良かった

⑤時間についての意見

- 4時間は長く、2～3時間に短縮してほしい
- 時間が長く感じたが、考えていけば時間が足りなく感じた

⑥資料についての意見

- 資料の事前配布は良かったが、当日の読み合わせに1時間使うのはもったいない
- 郵送で届く資料はありがたいが、コストがかかると感じた

⑦会議の成果と実行

- 結論を出すことを目的にしていなかったので参加しやすかった
- 市民の声が今後の建設予定に反映されることを望む
- 複数回の会議を通じて意見交換が深まり、有意義だった

⑧市職員と進行方法の評価

- 市職員やファシリテーターの努力が感じられた
- 市役所の職員みなさんに感謝の意を示したい

⑨その他

- ディベートのようなガツガツしたやり方ではないのが良かった
- 他のグループを確認することで理解が深まった

3.ヒアリングシートの分析

(5)確認5の「その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください」に対する回答

自由記載内容をAIにより分類・要約

①対話の重要性と参加の感謝

- 自分の考えを伝えることができて良かった。花巻市民として実感を得た
- ファシリテーターや他の参加者の存在がありがたかった
- 市民会議への参加機会に感謝。貴重な経験ができた

②多様な意見を通じた学び

- 年齢や立場の異なる人たちと意見を交わすことができた
- 新たな視点や考え方を知れたことが自己成長につながったと思う
- 多様な意見を聞くことで、新しい知識や見解を得られた

③市民が市政に関わる意義

- 市民として市の行事に関われる機会が貴重だと感じた
- 市の大事なことに関わられたことへの喜びを感じた
- 市民の意見を直接聞ける場として重要だと感じた

④自分の意見を言える場の重要性

- 市民が意見を述べることの重要性を実感した
- シンプルに意見を述べる場があるのは嬉しいと思う
- 他の市民と意見を交換する場所があることは大事だと思う

⑤会議の運営と進行について

- ファシリテーターの存在が大きかった
- ワークショップの進行が良かった
- 丁寧な説明のおかげでスムーズに進行できた

⑥候補地や建設に関する具体的な意見

- 駅前や病院跡地、個々のメリット・デメリットについて議論できた
- 建設候補地について、多角的に討論できた

⑦市政・市民会議への希望と期待

- 今後もこのような市民参加の機会を増やしてほしい
- 市政や市民会議が今後も続くことへの期待
- 市の行事や決定に市民が関わる重要性についての希望

⑧図書館建設の完成に対する期待

- 図書館が完成することを楽しみにしている
- 良い図書館になることを期待している
- 質の高い図書館が早く完成してほしい

⑨会議参加を通じて得たスキルや知識

- 会議の進行方法や対話の手法を学んだ
- 他人の意見を尊重することの重要性を学んだ
- 貴重な資料や情報を通じた学びが多かった

⑩市民と市の関係性

- 市民の声が反映される場として大事な役割を果たした
- 市役所や担当者への感謝の気持ちを述べる意見
- 運営における丁寧な対応に感謝

4.デメリットとデメリットの解決策

市民会議で話し合ったデメリットとその解決策をAIにより要約

花巻駅前

- ① 駅から近いため、電車の騒音や振動問題がある
(解決策) 防音及び振動対策を設計段階で対応、静かに読書できる部屋を設置する
- ② 建物が密集し、緑が少なく景観が悪い
(解決策) 植栽・植樹をする、天井を高くし開放感を出す、屋上を公園化する
- ③ イベント時に混雑し、観光客などのマナー違反が懸念される
(解決策) 混雑時の通行規制や警備員の配置、イベント時の利用制限
- ④ 駐車場の入口の道路が狭い
(解決策) 駐車場入口の道路を使いやすく工夫する
- ⑤ 図書館駐車場や駅のバス・タクシー乗り場で安全に関する懸念がある
(解決策) 防犯カメラの設置や警備員配置、歩行者安全対策を実施
- ⑥ 総合花巻病院跡地と比べ用地が狭い
(解決策) 3階建てにするなど建て方を工夫する、芝生広場を屋上に整備する
- ⑦ 平面駐車場はイベント時に図書館利用者が駐車できない可能性がある
(解決策) 駐車場の利用ルールを工夫し、デジタル技術を活用する、新しい駐車場の設置を検討する
- ⑧ 図書館利用者以外の違法駐車や無断駐車が増える可能性がある
(解決策) 駐車券を新システムで発券、図書館利用者とその他利用者のスペースを区別する
- ⑨ 概算事業費が高く、市の実質負担額が多い
(解決策) 負担分の効果が得られる事業を検討、追加費用がかかる場合は詳細調査を行う

総合花巻病院跡地

- ① 周辺に歩行者が少なく、人の流れができてにくい
(解決策) イベントや企画の実施(例: 古本まつりや散策マップの作成)、おしゃれなデザインや快適な館内、花の植栽など魅力的な図書館の設置
- ② 隣接するまなび学園でイベントがある際に駐車スペースが減る可能性がある
(解決策) イベント開催時には駐車場を区分け等で制限する、駐車料金の徴収、駐車場入口と出口を一方通行とする
- ③ 周辺に熊が出没、カラスが多く集まり糞害が発生
(解決策) 熊対策(例: 情報網の強化、爆竹・ロケット花火・鈴の活用、獣害用フェンスの設置)、カラス対策(例: 赤外線やライト、音による対策)
- ④ 周辺が急傾斜崩壊危険区域や土砂災害警戒区域等に隣接しているため不安がある
(解決策) 法面に照明を設置、安全性を周知する、フェンス等で危険区域に近づけない対策
- ⑤ 夜間が暗く、人通りが少ない印象
(解決策) 照明や街灯の増設、防犯設備の設置(例: 警察へのパトロール依頼、警備員やカメラによる監視)
- ⑥ 駅から徒歩11分程度で距離があり、交通の便が悪い
(解決策) バス路線の追加、駅からのシャトルバスの運行、自転車レーンの設置、レンタルサイクルの増加
- ⑦ 周辺に坂道が多く、冬期間は通行に不安がある
(解決策) 融雪剤散布やロードヒーターの設置、雪を利用したイベント開催
- ⑧ 周辺に飲食店が少ない
(解決策) カフェやコンビニなどの飲食スペースの確保、飲食店経営者の募集

5.市民会議の結果を踏まえ

(1)新花巻図書館の建設候補地について

市民会議では、参加者が市民の目線で2か所の図書館建設候補地について、メリットやデメリット、デメリットの解決策について話し合い、どちらの候補地が望ましいか自由に意見を述べるなど対話を繰り返す中で、それぞれ個人の意見をまとめ、ヒアリングシートに記載しました。

市はその結果を踏まえ、次のとおり、新花巻図書館の建設候補地を考えました。

- 確認2で重要視された分類の上位5つは、1. アクセス、2. 活性化、3. 安全、4. 周辺環境、5. 駐車場の順番です。重要視された分類ごとに候補地の選択で多かったものは次のとおりです。
アクセス「明らかに駅前」42人、活性化「明らかに駅前」27人、安全「どちらかといえば駅前」25人、周辺環境「どちらかといえば駅前」21人、駐車場「どちらかといえば病院」24人
以上から、重要視された5分類のうち4分類で駅前が評価されており、駐車場のみが病院跡地が評価されています。
これらの分類を重視する方の自由記述をAIによりまとめると、アクセスでは「駅前バスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい」「高齢者や学生にも利用しやすい場所が駅前である」。活性化では「新しい図書館ができることで駅前が活性化し、花巻の印象が良くなる」「観光客や花巻市民が利用しやすく、町の発展につながる」とまとめられています。同様にAIでまとめた安全は「駅前は交番が近く、明るく夜間も安心」「人通りが多い駅前の方が安全である」。周辺環境は「人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である」とされています。駐車場については、病院跡地を評価する意見が多くありました。重要視される5分類のうち4分類で駅前の方が評価されていることがわかりましたので、市は「花巻駅前」を候補地として選択したいと考えます。
- 市では、多くの市民に利用され、花巻市全体の活性化にも寄与することが期待される「花巻駅前」を新花巻図書館の建設候補地として選択し、新花巻図書館整備基本計画を策定したいと考えます。

5.市民会議の結果を踏まえ

(2)市民に親しまれる図書館を目指して

市では、花巻駅前を新花巻図書館の建設候補地として選択したいと考えますが、市民会議で出された病院跡地が良いとする意見では駐車場の使いやすさ、静かな環境などの意見もあったことから、新花巻図書館の整備にあたっては、そのような意見を含め、整備できるよう検討したいと考えます。

また今後、花巻駅前に新図書館を整備するにあたって、引き続き市民の声を聴く機会を設けるなど、市民の意見を反映させながら整備を進めたいと考えます。

検討にあたり

- 電車の騒音や振動を懸念する意見については、駅や線路に近い他の図書館の事例も踏まえながら設計段階で対応するとともに、防音し静かに読書ができる部屋を設置
- 図書館利用者以外の人たちも駐車場を使う可能性があるため、駐車場の利用ルール等を工夫
- 駐車場については、イベント等の開催時に満車となった場合には、まなび学園の駐車場等を利用してシャトルバスを運行するなどの工夫を検討
- 病院跡地に比べて敷地が狭く、イベントを開催できない等の意見については、図書館の建物を3階建てにすることも検討し、そのことによって芝生広場を病院跡地案と同程度に広げることや、屋上の芝生化も検討
- 花巻駅前でイベント等を開催する場合に、駐車場のフェンスを取り外し可能とするなど、イベントに対応できるよう検討
- 建物3階建てを検討する段階で、駅前多目的広場にある融雪設備については、一部撤去を行わず現状のまま維持することも検討
- 周辺の施設との連携についての意見もあることから、なはんプラザとの連携を検討

